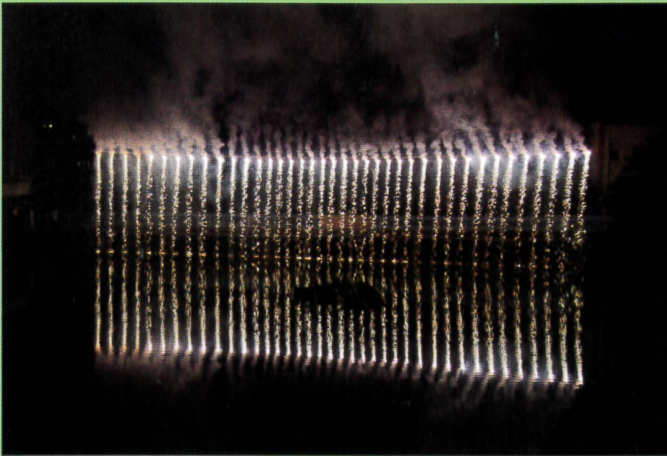


令和3年度～令和7年度
第4期みどりのわ・ささえ愛プラン
竹山地区 地区別計画

竹山地区



撮影 河野光喜さん(竹山4丁目在住)

竹山地区は、若い世代が減少し、少子化が進行しています。高齢化率は令和3年3月末日現在で44%を越え、担い手が高齢化し、見守りの必要な対象者も増加しています。20年程前は1万人以上いた総人口は現在6,600人にまで減少し、このまま推移すると2030年には、高齢化率が50%を越えることが見込まれます。一方で令和2年より神奈川大学サッカー部が清掃活動や地域行事等に参加するなど地域のコミュニティが広がっています。

竹山地区の人口6,639人 [令和3年3月時点]

14歳以下：463人(7.0%) / 15～64歳：3,220人(48.5%) / 65歳以上：2,956人(44.5%)



みどりのわ・ささえ愛プラン(緑区地域福祉保健計画)とは
「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」を基本理念とし、「一人ひとりが主役・共に支え合うつながりのあるまちづくり」を進められるよう、区域計画と11の地区別計画で構成されています。

みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画リーフレットの音声訳版はこちら [➡](#)



安全に安心して 仲良く暮らせる街づくり



重点取組 & 具体的な活動

重点取組 1

様々な地区活動やボランティア活動等の体制づくりを進め、担い手の負担軽減に取り組めます

【具体的な活動】

- 役割負担を軽減できるように、組織形態や活動内容など、これまでの地区活動の仕組みややり方の見直しを検討します。
- 「新しい生活様式」に即した行事の内容ややり方、各自治会同士での協力体制などについて話し合いを進め、活動の活性化と次世代への継承に努めます。



▲防災備蓄倉庫の整理

重点取組 2

見守りが必要な人についての情報共有の工夫や知りたい情報を正確に迅速かつわかりやすく知らせる工夫に取り組めます

【具体的な活動】

- タブレットを使ったオンラインの活用や地区内での様々な連携、近隣住民の気づきなどにより、見守りが必要な人の情報を共有します。
- チラシの作成や掲示の工夫等、誰もがわかりやすく伝わりやすいように、正確な情報伝達に努めます。
- 近所のコミュニティや団体間、管理組合との連携を生かして、情報を迅速に伝えるための仲間づくりを広げます。
- 「防災ささえ愛カード」などの取組を通じてデータベースを更新し、平常時も含めて必要な時に情報が取り出せる災害時の連絡体制づくりに継続して取り組みます。



▲落ち葉拾いの様子



▲盆踊り大会の様子

重点取組 3

世代間・団体間の交流を実現できる体制を構築します

【具体的な活動】

- 地域交流の基本となる「挨拶」をお互い意識して活動します。
- 美化活動やラジオ体操などの身近な地域行事や活動において、子どもから高齢者まで誰もが参加し、交流できる機会をつくり、相互の見守り体制を進めます。
- 地域行事や地区内の活動を工夫し、各団体などと連携しながら「新しい生活様式」の中で学生をはじめとした若い世代が参加し、交流できるよう取り組みます。
- 竹山小学校と連携した小学生でもできるミニボランティアの仕組みを検討します。



▲神奈川大学の学生さんから
スマホの使い方を教わります



▲お弁当を届ける
ボランティアさん



竹山地区社協配食ボランティアのみなさん

地域の見守りを目的に、高齢者から子育て世代のご家庭を訪問し、困りごと・悩みごとをお伺いして関係先へおつなぎします。みなさんの一番身近な相談相手でありたいと思って活動しています。



民生委員・児童委員のみなさん

利用者さん達を「第一」に考え、検温・消毒・マスク・使い捨て手袋。会話は控えめ。これらを毎回、きっちり守って続けています。

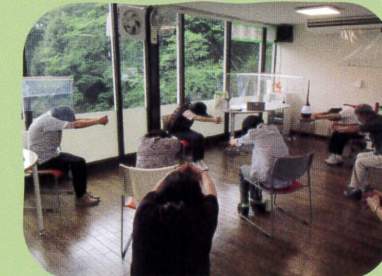
ちくたく
ふれあいさろん「竹多久」(場所:Aコープ上)では以下の活動を行っています

【2ヶ月に1回 日曜日午前】
カフェぶらり



▲カフェぶらりの様子

【第2・4金午前】
元気づくりのひろば
(元気づくりステーション)



▲元気づくりのひろばの様子



▲「竹多久」の入り口

※コロナ対策のために分散して開催しています。
(第1・3金午前は竹山ホール)

ふれあいさろん「竹多久」スタッフのみなさん

「竹多久」は楽しいみんなの集まりの場です。窓からの景色も最高です。月～土10時～16時営業中! 皆様のご来店をお待ちしています!



竹生クラブのみなさん

毎週火・金曜日朝8時15分から竹山南公園でラジオ体操実施中!
竹生クラブと保健活動推進員で頑張っています!
参加大歓迎!



保健活動推進員のみなさん



第2期
平成27年度まで
第3期
平成28年度
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度

第3期 目標1

ボランティアの取組を充実します

「竹山ボランティアセンター」



包丁砥ぎは毎年人気



4年毎に3回目の更新。
回収率は約7割。

第3期 目標2

知りたい情報を分かりやすく
伝えていきます

「防災ささえ愛カード」

広報紙回覧

「地区社協ホームページ」

文字を大きく
するなど様々な
工夫をして回覧

竹山の魅力PRを強化！！

「ホームページ」
をリニューアル



第3期 目標3

世代間・活動団体間の交流
を進めます

自治会での行事(運動会等)を実施

竹山池を活用した
竹山小との連携

連携して
環境調査を実施

「ふれあいさろん竹山」



「カフェぶらり」が誕生

認知症の取組

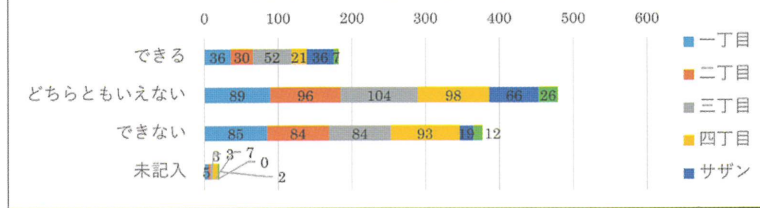
「池活クラブ」
がオープン

多世代交流の
フリースペース
(竹山商店街)



「住民アンケート」を実施

地区活動への協力(担い手)



新型コロナウイルス感染症のまん延により多くの活動が一定期間の中止や縮小
その後 感染予防や開催方法の工夫をしてできるところから活動を再開

掲示用シートを作成



6月に活動再開

問い合わせ先

横浜市緑区役所福祉保健課
横浜市緑区社会福祉協議会
横浜市鴨居地域ケアプラザ

住所：緑区寺山町118
住所：緑区中山2-1-1
住所：緑区鴨居5-29-8

電話：045-930-2304
電話：045-931-2478
電話：045-930-1122

FAX：045-930-2355
FAX：045-934-4355
FAX：045-931-2203